

### 3 雇用・失業

- (1) ① 11月の就業者数(季節調整値)は、2ヶ月連続で前月差で増加した。  
就業者数(季節調整値)は、10月に前月差17万人増となった後、11月は同51万人増と増加し、6,441万人(原数値は6,433万人、前年同月差23万人増)となった。男女別には、男性が3,745万人(前月差2万人減)、女性が2,695万人(同52万人増)となった(第11表)。
- 11月の雇用者数(季節調整値)は、2ヶ月連続で前月差で増加した。  
雇用者数(季節調整値)は、10月に前月差13万人増となった後、11月は同54万人増と増加し、5,558万人(原数値は5,561万人、前年同月差67万人増)となった(第13図)。男女別には、男性が3,220万人(前月差2万人減)、女性が2,338万人(同57万人増)となった(第11表)。雇用形態別(原数値)にみると、常雇が4,777万人(前年同月差71万人増)、臨時雇が671万人(同1万人増)、日雇が114万人(同4万人減)となった。
- 11月の常用雇用指数(事業所規模5人以上、季節調整済値、確報)は、前月比0.4%増となった。また、一般とパートの別にみると、一般労働者は前月比0.2%増、パートタイム労働者は同0.7%増となった。
- ② 11月の完全失業率(季節調整値)は、4ヶ月ぶりに前月差で低下した。  
完全失業率(季節調整値)は、10月に前月と同水準の4.0%となった後、11月は前月差0.2%ポイント低下の3.8%(原数値は3.7%、前年同月差0.2%ポイント低下)となった。男女別には、男性が3.9%(前月差0.1%ポイント低下)、女性が3.6%(同0.3%ポイント低下)となった。
- 11月の完全失業者数(季節調整値)は、2ヶ月連続で前月差で減少した。  
完全失業者数(季節調整値)は、10月に前月差6万人減となった後、11月は同11万人減と減少し、252万人(原数値は246万人、前年同月差13万人減)となった。男女別には、男性が151万人(前月差6万人減)、女性が101万人(同5万人減)となった。
- なお、求職理由別(原数値)にみると、11月は非自発的理由による離職失業者は80万人(前年同月差3万人減)、自発的理由による離職失業者は94万人(同9万人減)、学卒未就職者は11万人(同1万人増)、その他の理由による失業者は57万人(同2万人減)となった(第11表)。
- ③ 11月の労働力人口(季節調整値)は、2ヶ月連続で前月差で増加した。  
労働力人口(季節調整値)は、10月に前月差12万人増となった後、11月は同41万人増と増加し、6,694万人(原数値は6,679万人、前年同月差10万人増)となった。
- 11月の非労働力人口(季節調整値)は、2ヶ月連続で前月差で減少した。  
非労働力人口(季節調整値)は、10月に前月差10万人減となった後、11月は同43万人減と減少し、4,343万人(原数値は4,365万人、前年同月差7万人増)となった。男女別には、男性が1,443万人(前月差7万人増)、女性が2,900万人(同49万人減)となった。
- 労働力人口比率(原数値)は、11月は60.4%(前年同月と同水準)となった。男女別には、男性が72.9%(前年同月差0.1%ポイント低下)、女性が48.8%(同0.1%ポイント上昇)となった(第11表)。
- 就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合、原数値)は、11月は58.2%(前年同月差0.1%ポイント上昇)となった。
- (2) 有効求人数(季節調整値)は、前月比3.1%減と5ヶ月連続で減少した。  
有効求職者数(季節調整値)は、前月比0.2%減と5ヶ月連続で減少した。  
11月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.99倍と前月より0.03ポイント低下した。  
新規求人数(季節調整値)は、前月比5.4%減と6ヶ月連続で減少した。  
新規求職者数(季節調整値)は、前月比5.1%減と2ヶ月連続で減少した。  
11月の新規求人倍率(季節調整値)は、1.47倍と前月より0.01ポイント低下した(第12表)。  
正社員の有効求人倍率は、0.63倍(前年同月差0.03ポイント低下)となった。  
新規求人(季節調整値)を一般(除パート)とパートの別で見ると、11月は一般は前月比4.9%減と6ヶ月連続で減少し、パートについては同5.6%減と2ヶ月ぶりに減少した。新規求職者数(季節調整値)は、一般は前月比4.9%減と2ヶ月連続で減少し、パートについては同5.1%減と2ヶ月連続で減少した。
- (3) 産業別にみると、11月の就業者数(原数値)は、サービス業は前年同月差28万人増、情報通信業は同25万人増、教育、学習支援業は同10万人増と増加したのに対し、卸売・小売業は同10万人減、製造業及び飲食店、宿泊業は同9万人減、建設業は同5万人減と減少した。また、運輸業及び医療、福祉では前年同月と同水準であった。
- また、11月の新規求人(原数値)は、医療、福祉は前年同期比7.3%増、教育、学習支援業は同4.6%増と増加したのに対し、サービス業は同19.4%減、建設業は同14.7%減、卸売・小売業は同13.5%減、製造業は同10.6%減、情報通信業は同8.8%減、運輸業は同7.0%減、飲食店、宿泊業は同5.9%減と減少した。